

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)

【公表番号】特表 2004-502739 (P2004-502739A)
 【公表日】平成 16 年 1 月 29 日 (2004.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-004
 【出願番号】特願 2002-508462 (P2002-508462)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 38/48
 A 6 1 K 9/16
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 L 29/00
 A 6 1 L 33/00
 A 6 1 M 25/00
 A 6 1 P 7/02
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 43/00
 // C 1 2 N 9/74

【F I】

A 6 1 K 37/547 Z N A
 A 6 1 K 9/16
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 L 29/00 W
 A 6 1 P 7/02
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 43/00 1 0 7
 A 6 1 L 33/00 T
 A 6 1 M 25/00 4 1 0 Z
 C 1 2 N 9/74

【手続補正書】

【提出日】平成 14 年 7 月 26 日 (2002.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

心臓組織に投与される血管形成トロンビン誘導体ペプチドを含有してなる、心臓組織修復を促進するための医薬組成物。

【請求項 2】

ペプチドが、配列 A r g - G l y - A s p - A l a (配列番号：1) を有するトロンビンレセプター結合ドメイン；およびセリンエステラーゼ保存配列を含有してなる請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

セリンエステラーゼ保存配列が、A s p - A l a - C y s - G l u - G l y - A s p - S e r - G l y - G l y - P r o - P h e - V a l (配列番号：2) を含有してなる請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】

トロンビン誘導体ペプチドが、アミノ酸配列：A l a - G l y - T y r - L y s - P r o - A s p - G l u - G l y - L y s - A r g - G l y - A s p - A l a - C y s - G l u - G l y - A s p - S e r - G l y - G l y - P r o - P h e - V a l (配列番号：3) を含有してなる請求項 2 記載の組成物。

【請求項 5】

トロンビン誘導体ペプチドが、アミノ酸配列 A l a - G l y - T y r - L y s - P r o - A s p - G l u - G l y - L y s - A r g - G l y - A s p - A l a - C y s - G l u - G l y - A s p - S e r - G l y - G l y - P r o - P h e - V a l (配列番号：4) からなる請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

ペプチドが、心臓手術の間または心臓手術の後に投与される請求項 1 ~ 5 いずれか記載の組成物。

【請求項 7】

ペプチドが、心臓組織への注射により投与される請求項 1 ~ 6 いずれか記載の組成物。

【請求項 8】

徐放性製剤である請求項 1 ~ 7 いずれか記載の組成物。

【請求項 9】

徐放性製剤が、血管形成トロンビン誘導体ペプチドを含有してなるポリ乳酸 / ポリグリコール酸微粒子である請求項 8 記載の組成物。

【請求項 10】

心臓組織に投与される血管形成トロンビン誘導体ペプチドを含有してなる、血管再生を刺激するための医薬組成物。

【請求項 11】

血管形成トロンビン誘導体ペプチドを含有してなる、血管内皮細胞増殖を刺激するための医薬組成物。

【請求項 12】

血管形成トロンビン誘導体ペプチドを含有してなる、バルーン血管形成術後の患者において再狭窄を阻害するための医薬組成物。

【請求項 13】

ペプチドがバルーン血管形成カテーテル上にコートされる請求項 12 記載の組成物。

【請求項 14】

血管形成トロンビン誘導体ペプチドが全身に投与される請求項 12 記載の組成物。

【請求項 15】

血管形成トロンビン誘導体ペプチドが、バルーンで誘発された血管の損傷領域に局所的に投与される請求項 12 記載の組成物。

【請求項 16】

血管形成トロンビン誘導体ペプチドでコートされたステントが、バルーンで誘発された損傷領域の血管に挿入される請求項 12 記載の組成物。

【請求項 17】

ペプチドが、配列 A r g - G l y - A s p - A l a (配列番号：1) を有するトロンビンレセプター結合ドメイン；およびセリンエステラーゼ保存配列を含有してなる請求項 12 ~ 16 いずれか記載の組成物。

【請求項 18】

セリンエステラーゼ保存配列が、A s p - A l a - C y s - G l u - G l y - A s p - S e r - G l y - G l y - P r o - P h e - V a l (配列番号：2) を含有してなる請求項 17 記載の組成物。

【請求項 19】

トロンビン誘導体ペプチドが、アミノ酸配列：A l a - G l y - T y r - L y s - P r o - A s p - G l u - G l y - L y s - A r g - G l y - A s p - A l a - C y s - G l u

- G l y - A s p - S e r - G l y - G l y - P r o - P h e - V a l (配 列 番 号 : 3)
を含有してなる請求項 17 記載の組成物。

【請求項 20】

トロンビン誘導体ペプチドが、アミノ酸配列 A l a - G l y - T y r - L y s - P r o -
A s p - G l u - G l y - L y s - A r g - G l y - A s p - A l a - C y s - G l u -
G l y - A s p - S e r - G l y - G l y - P r o - P h e - V a l (配 列 番 号 : 4) か
らなる請求項 12 ~ 16 いずれか記載の組成物。

【請求項 21】

血管形成トロンビン誘導体ペプチドでコートされたステント。

【請求項 22】

トロンビン誘導体ペプチドを含有してなる、血管閉塞を阻害するための医薬組成物。

【請求項 23】

ペプチドのカルボキシ末端がアミド化されている請求項 1 ~ 20 および 22 いずれか記載
の組成物。

【請求項 24】

ペプチドのカルボキシ末端がアミド化されている請求項 21 記載のステント。